

「一人一人を尊重する」

信州型被災者支援システム実働訓練

日本の真ん中、信州から「被災者支援のあり方」を変革する！



長野県災害支援ネットワーク(N-NET)

全参加者の皆様へ

訓練の概要

実働訓練(実証実験)

1 目的

被災者支援のための各種取組を実践する場として、被災地外の「備蓄拠点訓練」と、被災地内の「避難・支援拠点訓練」とを連続して実施する。

この訓練成果をもとに、「『一人一人を尊重する』信州型被災者支援システム」(人権尊重型被災者支援システム)の導入に繋げる。

2 趣旨

実働訓練の企画・検討・実施のプロセスを通じて、「**民間のエキスパートによる被災者支援**」の実現と、多様な主体によるコレクティブインパクトのための「**被災者支援の標準(スタンダード)化**」を目指す。

また、人材育成などの各種取組の成果を実働訓練を行うことで検証する。

3 開催日

①備蓄拠点訓練(伊那市):2025年12月11日(木)～12月12日(金)

※内閣府「官民連携による避難所運営の質の向上強化事業」を活用

②避難・支援拠点訓練(松本市):2025年12月13日(土)～12月14日(日)

※日本財団「2025年度 災害対策ローカルネットワークの構築事業」を活用

1 日時

令和7年12月14日(日)9:00～15:00

2 場所

松本市「信州大学松本キャンパス中央広場」

3 主催・協力

(1)主催

長野県災害時支援ネットワーク(N-NET)

(一社)避難所・避難生活学会

(株)シェルターワン

(社福)長野県社会福祉協議会

信州大学

(地域防災減災センター、教育学部防災教育研究センター、
医学部附属病院、アクア・リジェネレーション機構)

(2)協力※あいうえお順

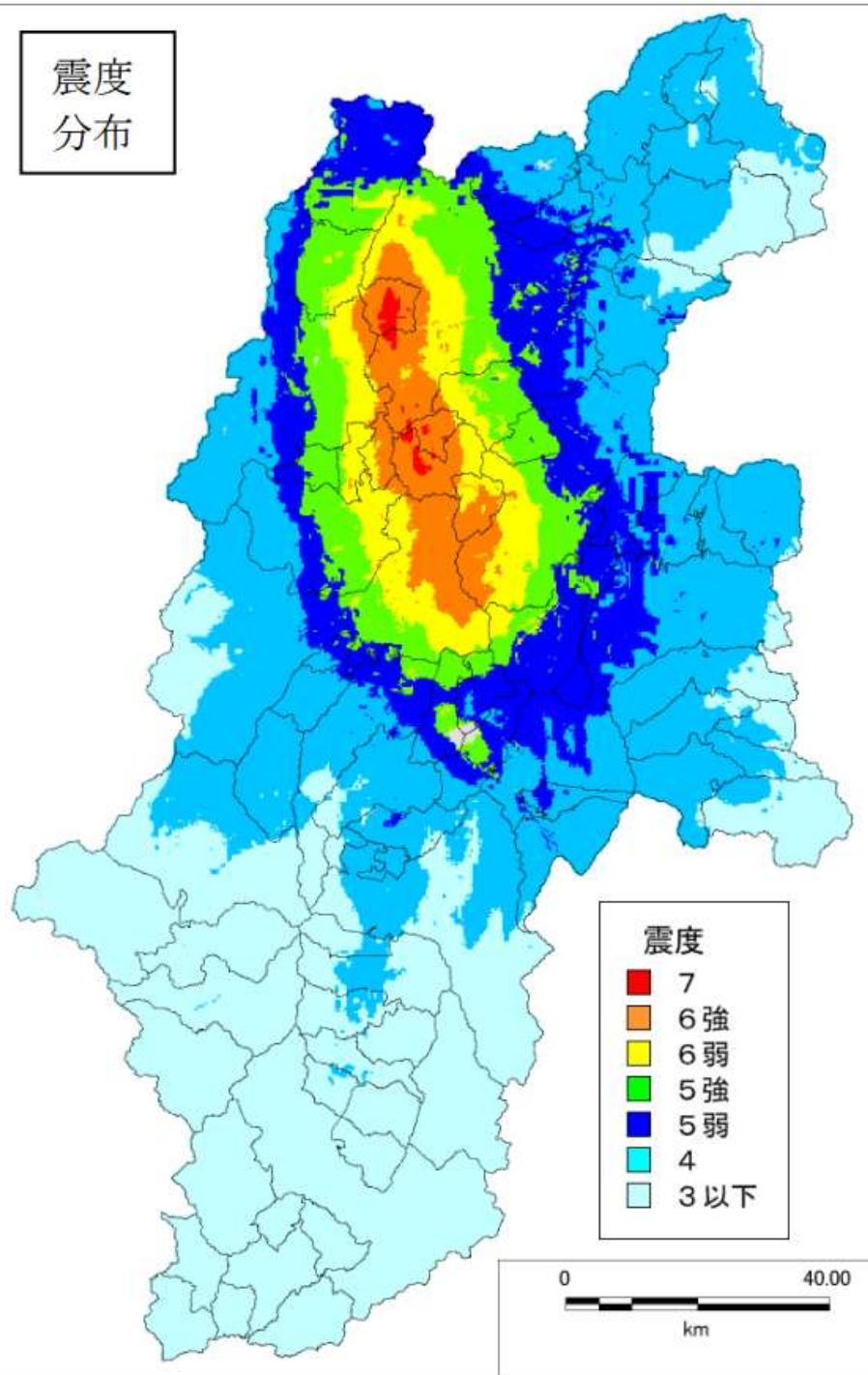
(一財)伊那谷財団、伊那市、清水建設(株)、(株)信防エディックス、長野県、
長野県立大学、松本市、(社福)松本市社会福祉協議会

避難・支援拠点の開設場所について

今回の訓練では、市町村の指定避難所避難者や在宅避難者等への支援を想定し、出来る限り被災者に近い区域「最も深刻な被害を受けた地域(hardest-hit area)」に拠点を開設することとし、今後の拠点設置場所の選定に関する知見を得る。

シナリオ・進行

震度
分布



実働訓練の被害想定

【地震の想定】

- ・**12月12日(金)5:47**に、長野県中部を震源とした直下型の地震が発生
- ・マグニチュード7.3(阪神・淡路大震災クラス) 県内最大震度7
- ・長野県災害時支援ネットワークでは、先遣隊を松本市に派遣
- ・**12月13日(土)**に支援拠点を設置、翌**14日(日)**から支援活動を開始



【12月14日(日)の状況】

- ・松本市を中心に広範囲で甚大な被害が発生
- ・今もなお、**懸命な救助・救命活動**が続けられている。
- ・指定避難所は、既に満杯の状況
- ・非指定の避難所が数多く開設
- ・地震(余震)がひどく、車中泊避難者も数多い模様
- ・**指定避難所以外の被災者の把握は出来ていない**(出来ない)。
- ・液状化、土砂崩れなどの影響により、被災地への移動が困難
- ・山間地域では、土砂災害も起きており、家屋への被害も起きている。
- ・広い範囲で、停電、断水が起きている模様
- ・長野県の震度5弱以上の全市町村に災害救助法が適用されている。
- ・住家の被害棟数はどれだけになるのか、よくわからない状況
- ・高速道路は、緊急車両(災害対応用車両を含む)のみ通過可能



2025年度実働訓練(実証実験)のイメージ

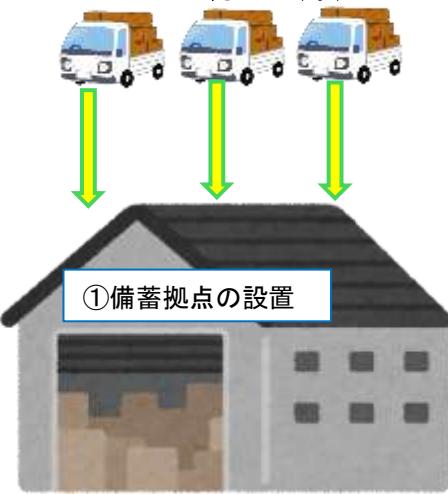
備蓄拠点訓練
伊那市
(内閣府補助金)

避難・支援拠点訓練
松本市
(日本財団助成金)

凡例

- ▶ : 資機材・物資の流れ
- : 支援の流れ
- ⇒ : 医療・福祉の流れ

※12月11日(木)



① 備蓄拠点の設置

※12月12日(金)



② 資機材の搬送

※12月13日(土)



③ 支援拠点の設置

①被災者支援本部の運営

※訓練された支援者

②避難・支援拠点の運営

③避難者への対応



⑥医療・⑦福祉

※12月14日(日)

想定:発災3日目

⑤指定避難所外避難者への支援



④近隣の指定避難所への支援



発災2日目：12月13日（土）

○概要

伊那市「備蓄拠点」(仮想)で資機材を積込み、被災地の松本市に搬送します。

その資機材を用いて、松本市に「避難・支援拠点」を設置します。

○訓練の流れ

8:00 備蓄拠点(仮想)からの積込・搬送

(伊那市会場:伊那市防災コミュニティセンター)

10:00 搬入(松本市会場:信州大学松本キャンパス中央広場)

13:00 「避難・支援拠点」設営開始

18:00 「避難・支援拠点」宿泊訓練開始

(一部参加者による宿泊訓練を実施します)



資機材集積場所

伊那市防災
コミュニティセンター

伊那市防災
コミュニティセンター



備蓄拠点訓練(実証実験)のイメージ

伊那市備蓄拠点(仮想)から松本市「避難・支援拠点」への資機材搬送イメージ



訓練会場（松本市）



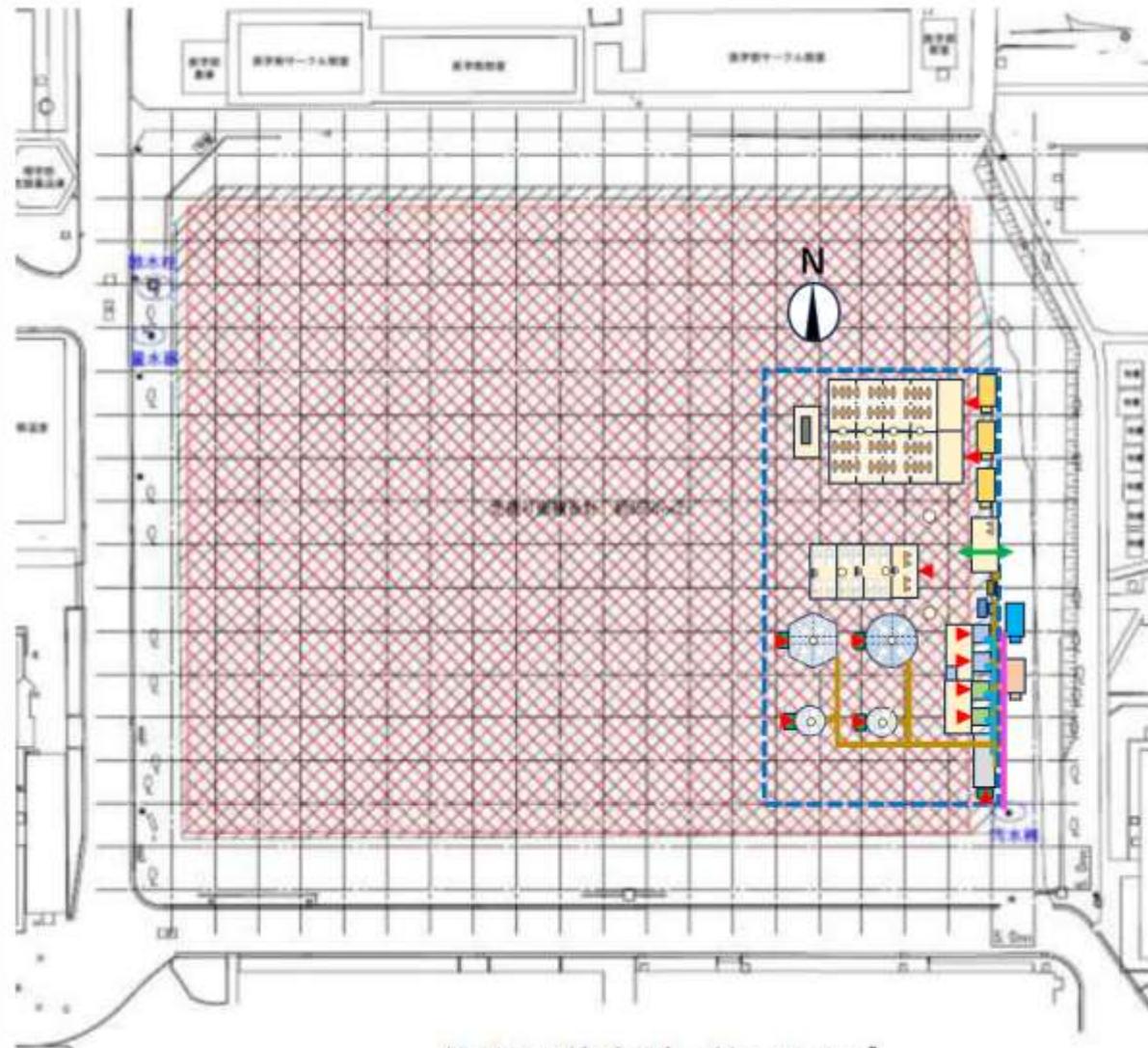
指定避難所(信州大学付属小学校体育館)

避難・支援拠点(信州大学松本キャンパス中央広場)



長野県松本市実動訓練 避難所設営敷地レイアウト

作成：㈱シェルターワン
作成日：2025.11.14

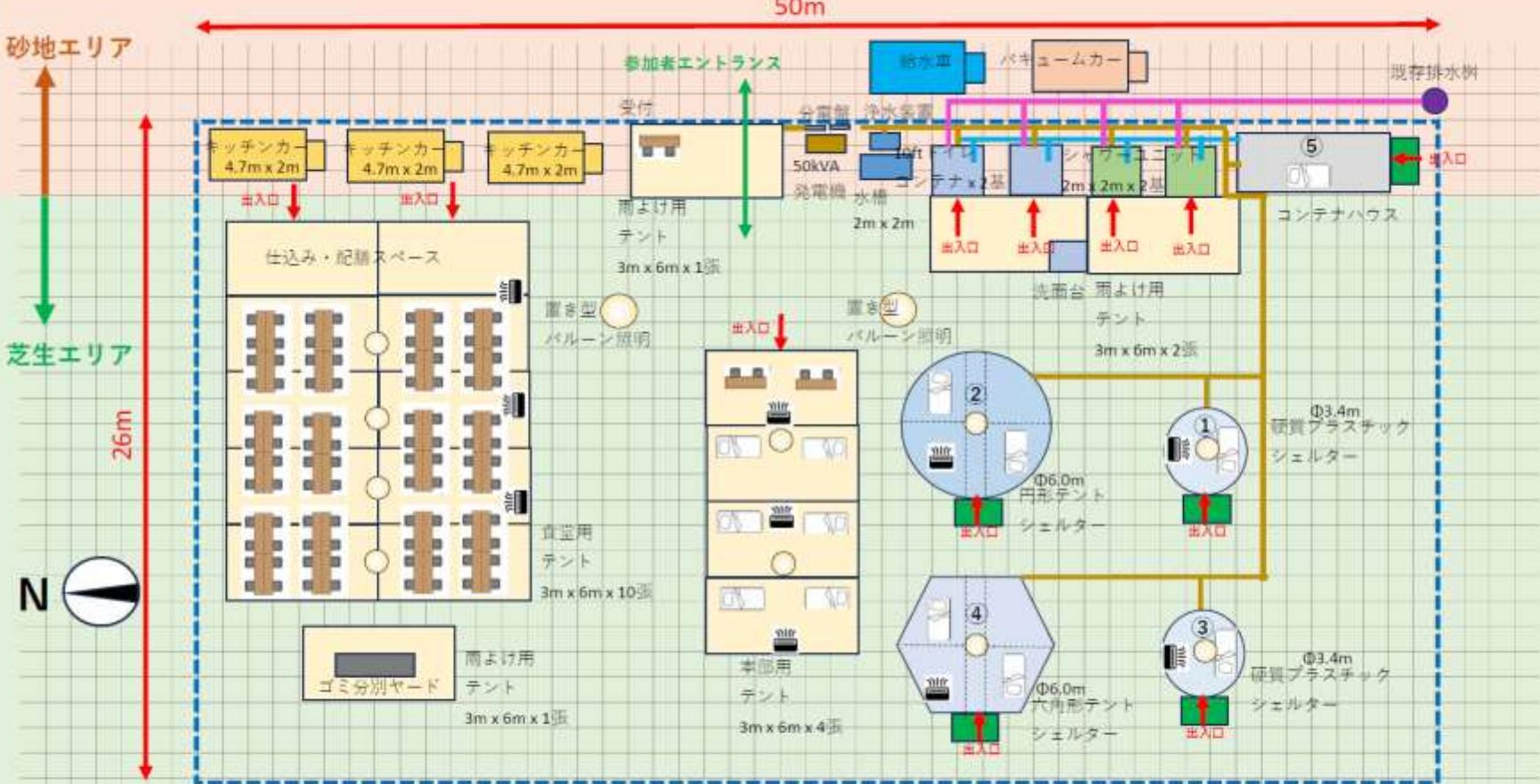


芝張面積合計 約6,550m²



長野県松本市実動訓練 避難所設営詳細レイアウト

作成：(株)シェルターワン
作成日：2025.11.14



主な使用資機材

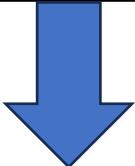
居住用シェルターx4、大型テントx17、キッチンカートx3、トイレユニットx2、シャワーユニットx2、発電機x1、
バキュームカーx1、浄水装置x1、水槽x1、テーブルx50、椅子x100、段ボールベッドx12、寝具セットx12、置き型バルーン照明x2
内部置き型照明x10、外用玄関マットx4、ヒーターx10

* 1 目盛りは 1 m



発災3日目：12月14日（日）

訓練構成

訓練項目	内容
12月13日(土) 備蓄拠点訓練 (伊那市) ※仮想拠点	<p>①備蓄拠点の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資機材の調達・搬入・保管 <p>②資機材の搬送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資機材の積込・搬送 <p>③支援拠点の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援拠点の設置・運営
	
12月14日(日) 避難・支援拠点訓練 (松本市)	<p>①被災者支援本部の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統括本部の設置・運営 <p>②避難・支援拠点の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難施設の運営 ・支援拠点の運営 <p>③避難者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難者対応 ア 食支援 イ ジェンダー視点での支援 ウ 子ども支援 エ 相談体制の構築 ・要配慮者対応 <p>④近隣の指定避難所への支援 ※松本市民の避難訓練と連動</p> <p>⑤指定避難所外避難者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅避難者等の把握 (立案、調整、実行準備) <p>⑥医療</p> <p>⑦福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMAT・DWATによる医療と福祉の連携 ・臨時福祉避難所の設置 ・災害医療コーディネーターによる調整 ・DWATによる福祉支援 ・災害VC設置準備 <p>⑧物資の調達・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援に要する物資等の調達

○概要

「避難・支援拠点」において、被災者への支援活動を行います。

○訓練の流れ

8:30 受付開始

9:00 訓練参加者への説明、訓練ごとの班編成・作戦会議

10:00 訓練開始

11:30 第1回全体調整

12:00 食事支援（キッチンカー事業者による食事の提供）

※避難者役は食事支援終了後、解散・自由見学

13:30 第2回全体調整

※今後1週間で取り組むべき事項（達成目標）発表

14:00 振り返り（訓練ごとの意見交換、支援者アンケート）

14:30 訓練総括（全員、本部テント前集合）

15:00 訓練終了、拠点撤収

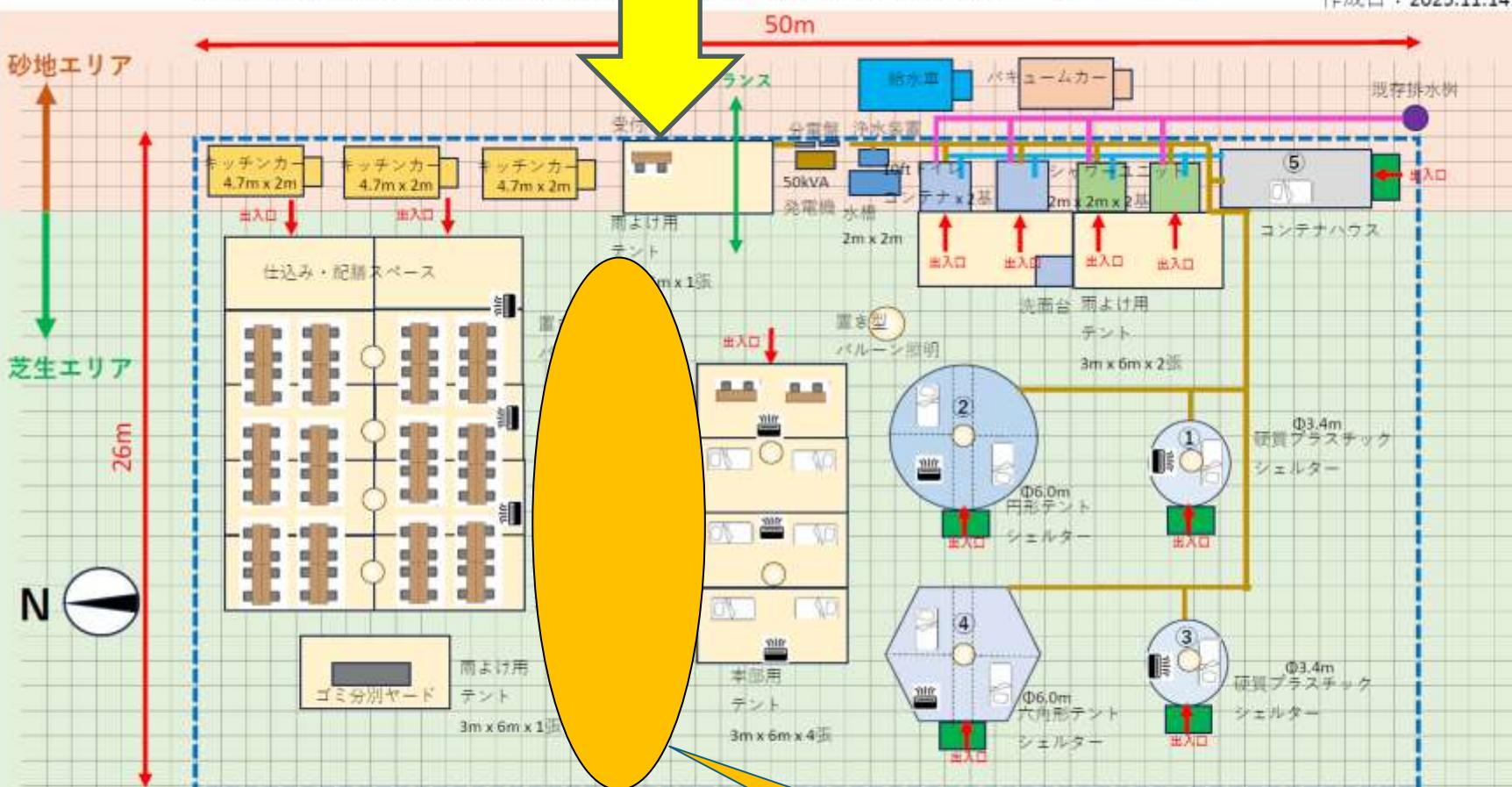
※撤収作業にご協力ください

9:00全体説明開始時

長野県松本市実動訓練 避難所設置詳細レイアウト

作成：(株)シェルターワン

作成日：2025.11.14



主な使用資機材

居住用シェルターx4、大型テントx17、キッチンカーx3、トイレユニットx2。

バキュームカーx1、浄水装置x1、水槽x1、テーブルx50、椅子x100、段ボールベッドx12、寝具セットx12、置き型バルーン照明x2

内部置き型照明x10、外用玄関マットx4、ヒーターx10

9:00集合場所

* 1 目盛りは 1 m

給水管接続

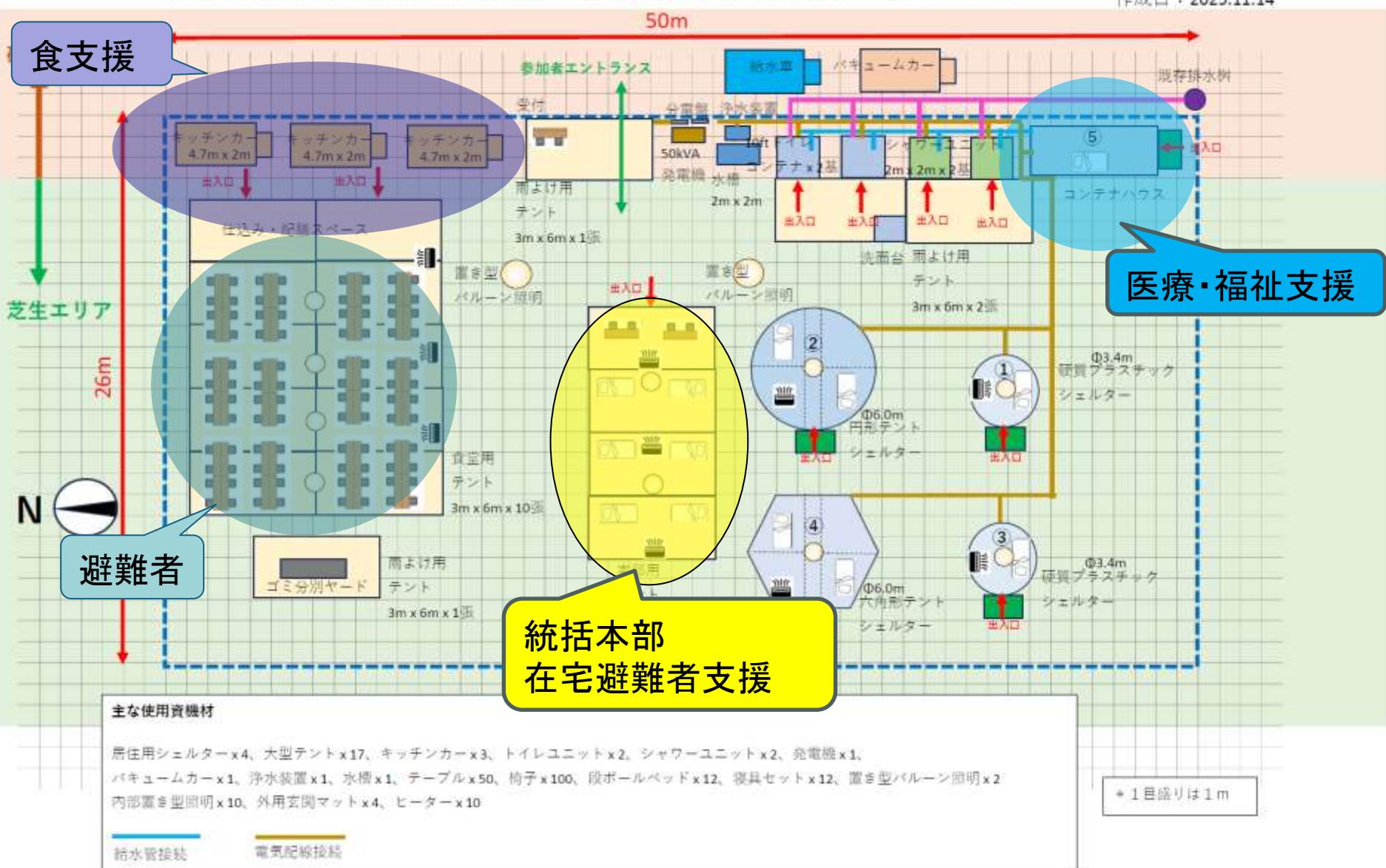
電気配線接続

10:00訓練開始時

長野県松本市実動訓練 避難所設営詳細レイアウト

作成：(株)シェルターワン

作成日：2025.11.14



避難・支援拠点(信州大学松本キャンパス中央広場)

指定避難所(信州大学付属小学校体育館)

臨時福祉避難所



避難所開設3日目

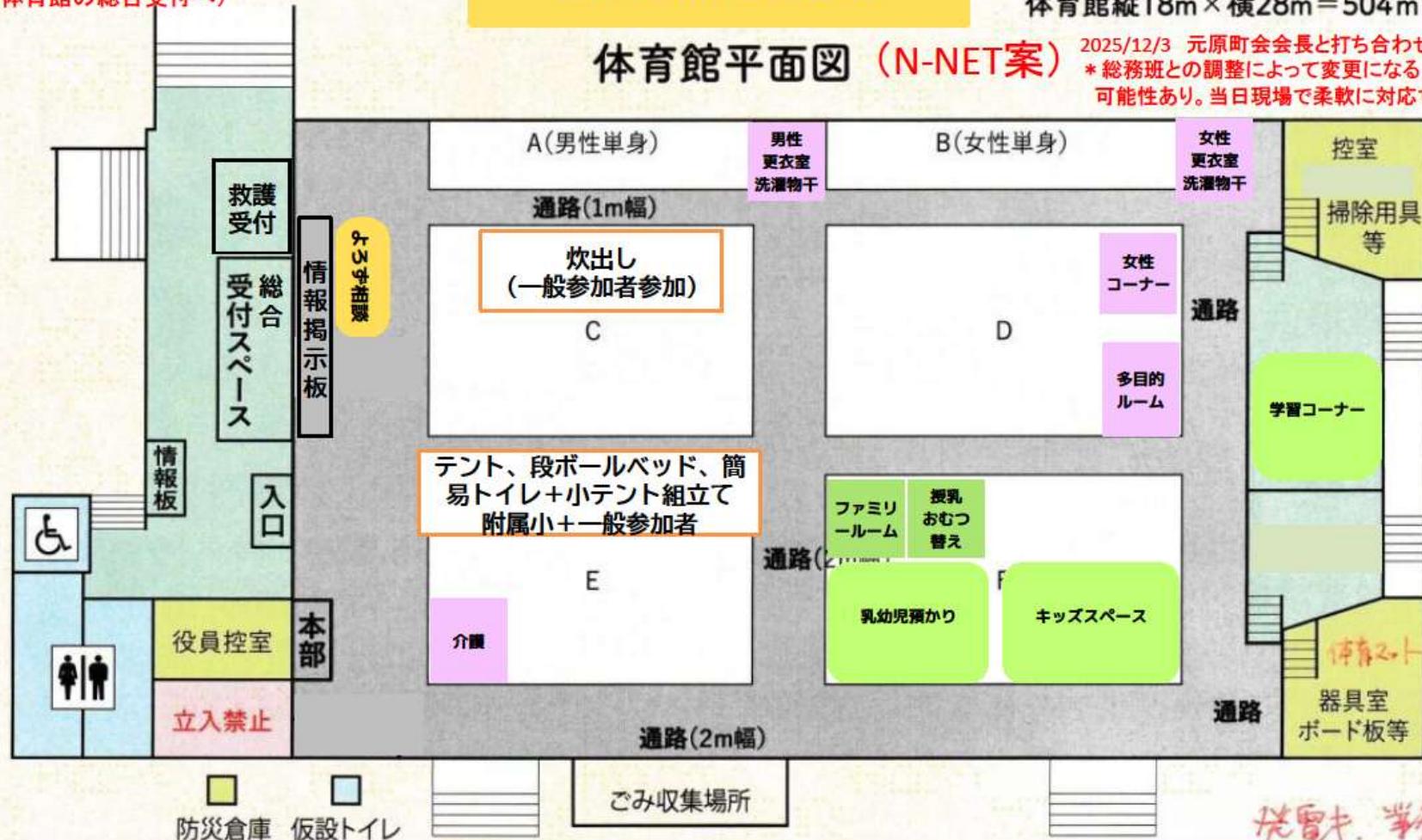
体育館平面図 (N-NET案)

* 受付2か所(感染対策のため、発熱者は直接隔離室へ(昇降口で入所カード記入→体育館の総合受付へ)

11:00～避難者受け入れ後落ち着いたら場面転換
会長のアナウンスで開設3日目の外部支援を展開

体育館縦18m×横28m=504m²

2025/12/3 元原町会会長と打ち合わせ
* 総務班との調整によって変更になる
可能性あり。当日現場で柔軟に対応する



発電機、掌社や
エレベーター
へんてつ

◎今回の訓練の特徴

検証するのが「避難・支援拠点の設置」によって支援の質に変化をもたらすことができるかという視点です。

今回は発災3日目を想定しますので、その時点での被災者支援、特に要配慮者の命を守る(災害関連死防止)ことと、そのために、現場でできる限りの調整を行い、少しでも被災者の置かれている生活環境を向上させることにつながるか、というものです。

特に注目して欲しい項目

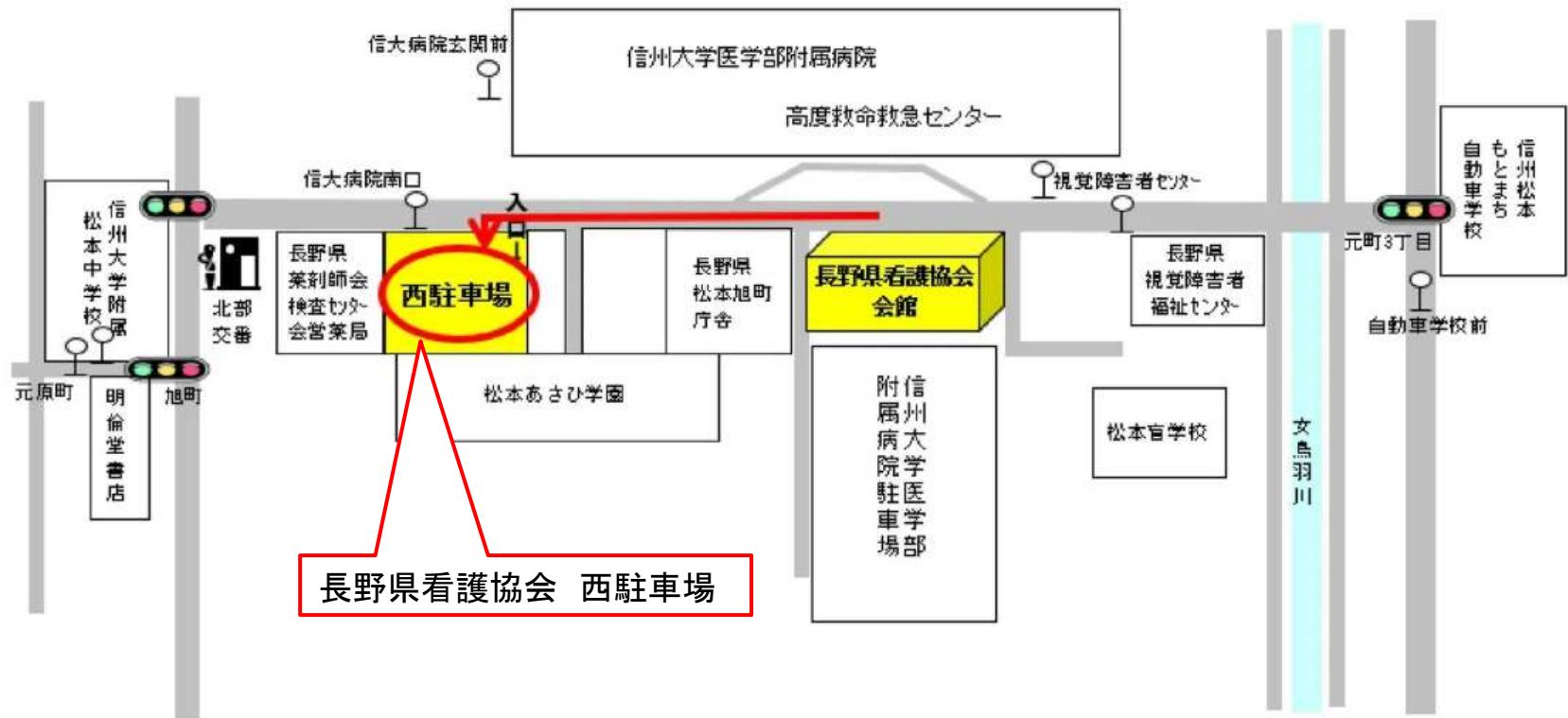
- ①拠点の設置と災害中間支援組織による調整機能
- ②医療と福祉の連携と調整、

福祉支援が必要な被災者への支援(臨時福祉避難所の設置等)

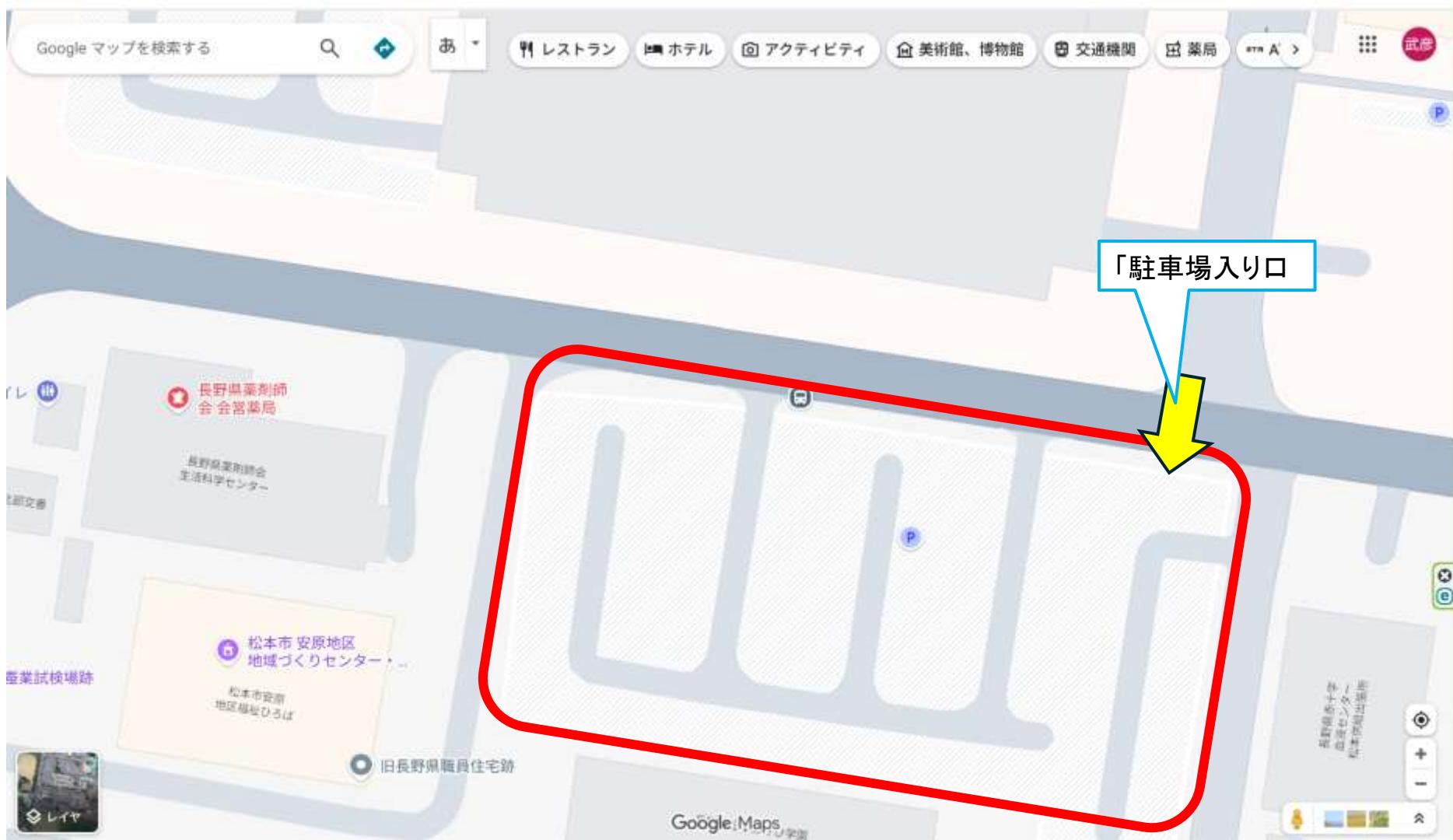
- ③指定避難所への支援
- ④在宅避難者への支援
- ⑤支援物資等の調達

駐車場について

信州型被災者支援システム実働訓練 駐車場



「駐車場入り口」





留意事項

○服装

- ・基本的に自由(上にビブスを着用していただきます)
- ・暖かい恰好で

○「避難・支援拠点」の出入口は1か所に制限

- ・出入口(中央エントランス)以外から出入りしないでください

○禁煙

- ・会場全体は禁煙

○ゴミ

- ・ゴミの持ち帰りにご協力ください

○交通事故の防止

- ・交通規則を遵守してください